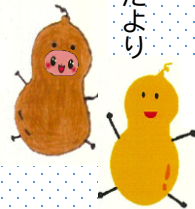


かわら版

集落支援員だより



少人数ならではの授業が
特長！新殿小学校の「考
える力」を養う授業内容
について取材しました。

新殿小学校では「総合学習」
の中で、子どもたちの「生きる
力」を身につけるためのユニ
ークな授業が行われています。授
業の一環として行われた道の駅
「さくらの郷」での児童の皆さ
んの活動について紹介します。



▲「ポイ捨てゴミのない新殿にしたい」と呼びかけました

◆新殿を好きになるために、
できることを話し合いました。

昨年度から、新殿小学校では総
合学習の「探究的な学び」に力を
入れ、子どもたちが自分で考えて
行動し、体験から学べるような授
業内容を工夫しています。



▲3・4年生が活発に意見や
アイデアを出し合いました

全校児童
三十人とい
う少人数な
らではの複
式の学級編
成が特色。
今年の子
四年生のテ
ーマは「新
殿を好きに
なる！」。そ
のたに
できること
をを考え、
五月に国
道459号沿
いのゴミ拾
いをみん
なで行いま
した。「ゴミ
が思ったよ
りも多くて
びっくり！」
「タバコの
吸い殻を空
き缶に入れ
て捨てる人
が多い」「地
元の車の中
からポイ捨
てする通り
がかりの人
が多いと思
う」など様
々な感想や
意見が出さ
れました。

◆さくらの郷でチラシを配布。
来訪者に呼びかけをしました

そこで「ポイ捨てをなくすた
めに、集まる人が多い場所
で呼びかけ、ポスターを作
って配ろう」という話
がまとまり、十月に「さ
くらの郷」を訪ねることに
した。当日

日山キャンプ場での 課外学習の様子を紹介！

新殿小学校では、昨年
から日山キャンプ場での
課外学習を行っています。
今年9月に開催され、全
校児童30名が5つの縦
割り班に分かれ、高学年
がリーダーとなって低学
年の世話をし、まとめ役
を務めました。

★造形作品づくり

班ごとに事前にテーマを決め、
自然の中にあるものを用いた
作品づくりに挑戦。キャンプ
場内を散策し、葉や枝、木
の実、石などを拾い集め
ました。その後、バンガラ
ーに移動。画用紙の上に素
材を貼り付けていきました。
「へんてこな顔」「楽しそ
うなみんなの笑顔」「百
万円を拾ってびっくりした
顔」などユニークな作品が
完成しました。



▲自然の中で素材を収集

★火おこし&バーベキュー

お屋は火をおこしてバーベ
キューに挑戦しました。炎を
持続させるコツをつかめ
ず苦労する班もありまし
たが、食べ始めると「美味
い」とみんな笑顔でした。
「ピーマン嫌い」という
低学年に高学年が話しか
けるうちに自然にピーマン
を食べたという場面も。年
上のお子さんが年下の面
倒を見ている様子がほの
ぼのと温かく感じられま
した。



▲班のみんなで作品づくり



▲班ごとにメニューを考案



▲チラシも来た人に手渡しました！

新殿の国道459号沿いでは こんなゴミが多かったです！

- 空き缶、ペットボトル
→ 清涼飲料水だけでなく、アル
コール類もありました
- プラスチック・ゴミ
→ お弁当を買って食べた後、
ポイ捨てする人がいます！
- タバコの吸い殻
→ タバコを吸った後、車の窓
から捨てる人が多いです！

◆取材を終えて

少人数だからこそできる授
業があることや、児童の皆
さんが「新殿大好き」とい
う明るい笑顔が印象に残
りました。地元のために貢
献してくれている小学生
の皆さん、先生方、ありが
とうございます！

I Love Iwashiro ⑳ 下長折・梵字石&不動滝

岩代を愛する人がすすめる魅力あるスポットを紹介。二四回目は下長折の渡邊正美さんです。

下長折の山の中にある稻荷神社の境内には不思議な巨石が鎮座しています。高さ約五・一メートル、周囲約十二メートルもの石には梵字や文字が刻まれています。幼い頃から遊び場として慣れ親



▲花崗岩の巨石は見上げるほどの大きさと圧倒されます。廃寺となった稻荷山長安寺ゆかりの石と伝えられます

二本松実業高校安達東校舎 シクラメンを販売します!

今年もシクラメンの季節になりました。草花専攻班の生徒さん8人が育てたシクラメンを販売します。「今年が最後の販売となる予定です。地元、岩代地域の皆さんには、ぜひ足を運んでいただけたら嬉しいです」(生徒一同)。



★販売期間 11月27日(月)～
★時間: 9時～16時
★場所: 二本松実業高校 安達東校舎裏の農場 草花温室
★価格: 1鉢 1,000円
※売り切れ次第、販売終了となります。お早めにごうぞ。
※問合せ: 二本松実業高校 安達東校舎へ
☎0243-55-2121

◇紹介者◇ 下長折在住 渡邊正美さん



「自宅の門には梵字石までの案内図を看板にして掲げています。案内することも可能ですので、一声かけていただくと嬉しいです」

また近くに滝があり、滝の上の岩にも雲堂和尚による梵字が刻まれています。どちらも一見の価値のある歴史的史跡ですので、ぜひ訪ねてみてください。

境内に鳥居が4つあり、不動滝の岩に刻まれている梵字は、梵字の岩に刻まれている。



岩代の歴史シリーズ

両属の将 石川弾正の生涯 ⑧

石川弾正顕彰会事務局長 日下部善己

八 相馬派・伊達派と弾正

田村家中の相馬派は、田村右馬守頭基入道梅雪斎、田村右衛門清康「船引城」、そして小野城、大蔵城、大越城、石沢城の城主、石川弾正光昌「月山城・小手森城」と父撰津守「百目木城」等二〇騎ほどであり、相馬に通じる街道沿いや岩城境目の領主であった。

伊達派は、田村宮内頭頼入道月斎、橋本刑部頭徳「木村城」、田村宮内頭康「宇津志城」等二〇名ほどで、田村家中や月斎の縁故集団の領主であった。

天正十六年(一五八八)四月七日、弾正は大内備前の伊達家復帰を直接の契機とするかのように宮森へ出兵した。これは伊達氏から相馬氏への帰属替えが軍事行動となつて現れたものである。

この動きと相反するように大内定綱・片倉小十郎等と一緒に政宗の元に参候した。

四月十五日、弾正は西城(西新殿)を偵察したが、宮森城から駆けつけた白石宗実に撃退される。弾正には相馬義胤の塩松・田村方面出馬を誘う意図があった。

政宗は五月十五日には大森城に入った。同日、相馬に向かう石川方の者が捕らえられた。その密書に「心変わりの者一二十七人」とあり、かなりの数の相馬派の存

在が知られた。

二一日、政宗は築館に着陣した。弾正は、それまでの月山城から小手森城へ移り守備を固めた。弾正支援として田村家中への対応のため、義胤は小高から百目木城に出馬し月山城を守備した。

やがて弾正の籠もる小手森城での戦いが始まり、伊達軍は城の三ノ構まで侵攻し、付近の畑の麦も刈り捨てた。しかし籠城軍の守りは固く、五月二六日には政宗は一端大森城に帰ったが田村家中相馬派の動きに対応するためにこの城に留まった。

閏五月十二日、義胤は三春城入城を意図したが、田村家中伊達派橋本頭徳等に阻まれて果たせず、船引城に籠城した。

同十三日、政宗は宮森城に着いた。同十五日は、弾正方の月山城が伊達・田村の兵に攻められ、作物も悉く刈り取られた。

同十六日、弾正が守る小手森城が放火され多くの死者を出して陥落した。三〇〇人が討ち取られた。その後相馬派の大蔵城が落城した。また、月山城は一兵も残らず退却し、石沢城、百目木城も退兵した。弾正は月山城から相馬領に退却した。この日政宗が百目木城に入城した。塩松全域と田村が政宗に帰属した。

政宗は五月十五日には大森城に入った。同日、相馬に向かう石川方の者が捕らえられた。その密書に「心変わりの者一二十七人」とあり、かなりの数の相馬派の存



▲石川弾正顕彰会「いしだんくん(甲冑だんくん)」